

# IT経営革新・企業再生実践講座

## 2010年度

講師が25年に亘って培ってきたIT経営革新・企業再生効果を確実に高める独自の手法を、実践的・具体的事例で解説し、実践効果を確実に高める「MiHCoSH手法」を学びます。ケーススタディ等を通じて参加者が自ら参画し課題を認識できる実践的な方法を学ぶ講座です。

### 講座概要

**テーマ: MiHCoSH手法によるIT経営革新・企業再生の経営改善の進め方  
～MiHCoSHはIT経営革新・財務・法務の統合問題解決手法～**



**講師: 小林 勇治**

(株) マネジメントコンサルタンツグループ 代表取締役

(社) 中小企業診断協会 副会長

NPO法人ITコーディネータ協会 副会長

中小企業診断士, CTP (認定事業再生士), ITコーディネータ

第1日目		2011年3月12日(土) 10:00～17:00	
01	IT経営革新・企業再生の「デューデリジェンス」の進め方	05	MiHCoSH IT経営革新・企業再生化「資源・資金調達とIT開発」
02	IT経営革新・企業再生の「MiHCoSH革新戦略ビジョン」の策定	06	IT経営革新・企業再生「MiHCoSH計画の策定」
03	IT経営革新・企業再生成熟度評価と期待効果と可能性判断の求め方	07	IT経営革新・企業再生「効果測定5つの手法」
04	IT経営革新・企業再生化MiHCoSH企画	08	IT経営革新・企業再生「MiHCoSHモニタリング手法」(宿題あり)

第2日目		2011年3月13日(日) 10:00～17:00	
<b>ケーススタディ</b> (製造業, 建設業, 卸売業, ボランタリーチェーン本部, 小売業, 飲食業, サービス業)			
ケース・スタディは参加者の希望に沿って、2～3事例程度に絞る予定です。			

講義概要

<第1日目>

日時:2011年3月12日(土) 10:00~17:00

01 IT経営革新・企業再生の「デューデリジェンス」の進め方

一般的IT経営革新と中小企業再生支援協議会方式・MiHCoSH方式のデューデリジェンス(DD)のプロセスの違いが有り、その相違点について説明します。同時にIT経営革新・企業再生を成功させるためのそれぞれのポイントについて、講師の経験と実践事例を元にDDのポイントを解説します。

02 IT経営革新・企業再生の「MiHCoSH革新戦略ビジョン」の策定

経営目標(KGI)、社長の思い入れ、SWOT分析、新戦略ドメイン、事業成熟度分析、革新テーマ、コアコンピタンス、マネジメント要件、革新・再生期待効果の算出をし、戦略ビジョンの作成を行う。実際にコンサルティングを行なった具体的事例を用いて分かりやすく講義をします。

03 IT経営革新・企業再生成熟度評価と期待効果と可能性判断の求め方

企業再生における経営体のMiHCoSH成熟度評価プログラムを提供し、プログラムの使い方と期待効果算出を体験してもらう。算出結果からの再生可能性についての再生可能性判断についても体験してもらう。また一般的なやり方としての企業から再生計画が提出された場合の再生可能性判断についても、その判断基準を示して実務に対応できるように説明します。

04 IT経営革新・企業再生化MiHCoSH企画

IT経営革新・企業再生企業のAs-IsモデルとTo-Beモデルの作成方法について説明します。現状の問題点・課題点をBIIモデルとして業務プロセスの中に示し、その解決案としてのTo-BeモデルとしてのBIIモデルを作成する方法を学びます。これは二日目に実例を交えた演習で修得してもらいます。これが具体的に出来ることによって、経営革新も企業再生も実現できる計画(企画)と言えます。

受講生の声

昨年度ご参加された皆様からお寄せいただいた声を一部ご紹介します。

- ・ミーコッシュ手法の全体像および各論を体系的に学べ、非常に良かった。資料も頂けたので、今後の学びと実践に非常に役立つと思え、ありがたいです。
- ・理論と実践のバランスが丁度良いと感じました。
- ・To-Beモデルを書く重要性がわかった。
- ・各種Excelシートを実際に動かしてみる機会を得られたことで、Back-and-forthしながらケースを考え、実行性を考えることが出来た。今後にも活用の幅を広げられた。
- ・今まで「××すだ」「○○しましょう」と提言することしかできませんでした。具体的なアクションプランとして何をすべきか、それが売上げ・利益にどの程度インパクトを与えるのかを1通り理解できました。診断のPDCAに活用します。
- ・事例を元に提案内容についてディスカッションできた点が良かったです。
- ・事例に取組み、経営者の方と直接接することで、たくさんの気付きを頂きました。
- ・(経営者の方のご努力を直接伺え)具体的な事例に基づき、真剣に検討させて頂ける、よい環境でした。

実際の案件を扱った  
ケーススタディが好評!

経営者の方の生の声が  
聞いて参考になった!

## 05 MiHCoSH IT経営革新・ 企業再生化 「資源・資金調達とIT開発」

①IT経営革新における資源調達とIT開発の進め方については、RFI(ベンダーに対する情報要求書)の作成、RFP(要求プロポーザル)の作成、ITプロダクトリファレンス、見積依頼とベンダーコンペの開催、ベンダーの決定、FFP(完全定額・契約)方式の契約方法、MiHCoSH革命・情報システム開発・テスト・導入について説明します。②企業再生については、金融機関とのリスク、債権免除、再融資の求め方について講師の経験談を含めて説明します。

## 07 IT経営革新・企業再生 「効果測定5つの手法」

期待効果を測定する5つの方法として、①KPI(重要業績指標)、②ABC(活動基準原価方式)、③ベンチマーキング手法、④バランススコアカード手法、⑤ROI(投下資本利益率)手法について説明します。

## 08 IT経営革新・企業再生 「MiHCoSHモニタリング手法」 (宿題あり)

MiHCoSH手法によるモニタリングとして、①マインドウェアのモニタリング、②ヒューマンウェアのモニタリング、③コミュニケーションウェアのモニタリング、④ソフトウェアのモニタリング、⑤ハードウェアのモニタリング手法について説明します。また、講座を効果的に進めるために宿題も出させていただきます。その他、有志による懇親会も企画しています。

## 06 IT経営革新・企業再生 「MiHCoSH計画の策定」

①IT経営革新のための企画書に基づく設備見積、開発、開発運用時の革新期待効果、運用方法について講義します。②企業再生計画書については、計画策定の実務3原則(①財務および事業実態の把握、②再生計画の内容に係る基準、③再生計画実行により権利の変更が生じる関係機関等から再生計画案について同意を得る)について説明し、具体的再生期待効果と精算の場合の算出方法について説明します。

### テキストのご紹介



- ◆講義テキスト
- ◆参考資料
- ◆第1日目 宿題
- ◆第2日目 ケーススタディー問題集

＜第2日目＞ 日時:2011年3月13日(日) 10:00～17:00

ケーススタディ ※ゲスト講師(予定):筒井 恵(有限会社リンク・サポート 代表取締役)  
※ゲスト企業(予定):川崎 隆三郎(讃岐スパ開発株式会社)

講師独自の「IT経営革新・企業再生MiHCoSH手法」により、

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| ①IT経営革新・企業再生プロジェクトの立ち上げ | ②IT経営革新・企業再生戦略の策定      |
| ③IT経営革新・企業再生化企画         | ④IT経営革新・企業再生資源調達       |
| ⑤IT経営革新・企業再生システムの開発・導入  | ⑥IT経営革新・企業再生の具体的運用     |
| ⑦データの有効活用手法             | ⑧IT経営革新・企業再生の監査・モニタリング |

を、ケース・スタディを取り入れながら、経営革新・企業再生効果を上げる一貫した手法を学習します。

## 講座案内

### 募集要項

- 会場 早稲田大学日本橋キャンパス
- 定員 20名  
(定員に達し次第、締め切らせて頂きます。)
- 受講料 50,000円(税込み)※2日間セットでのご受講となります。
- 対象者 IT・企業再生効果を確実に上げる意欲のある者であれば、前提となる資格・スキルは問いません。

### 講義風景



- その他 受講者にはMiHCoSH商標の使用に関する契約とミーコッシャー(補)の認定書が授与されます。

### 【お申し込み方法】

当パンフレットに添付の「講座受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXでお送り下さい。

#### 1 受講料のお支払い方法

- お申し込みの受付後、早稲田大学ビジネス情報アカデミー事務局より受付確認のメールをお送りいたします。確認メールまたは、別途送付する請求書に記載されたお支払い期限までに指定の口座に受講料をお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい。)
- 受講料には消費税が含まれます。
- お申し込み後、一営業日が過ぎても事務局からメール返信がない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

#### 2 受講票の送付

- 受講料の入金確認後、『受講票』をお送りいたします。(受講票は当日忘れずにお持ち下さい。)
- ご入金後、一週間が過ぎても受講票がお手元に届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

#### 3 受講申し込み上の注意

- 受講のお申し込み受付は先着順とし、定員に達した時点でお申し込み受付を締め切らせていただきます。
- 講座の応募状況により、受講定員を変更させていただく場合がございます。
- 受講生が一定人数に満たない場合、講座を中止することがございます。(中止決定は講座開始日の7日～10日前に行います。講座中止の際には受講料を全額ご返金いたします。また、講師の緊急の都合などによる場合も、中止、延期、時間短縮等させていただく場合がございますのでご了承下さい。)

#### 【開講前のキャンセル取扱いについて】

- 講座開始日7日前以降のキャンセルに伴うご返金はいたしかねますので、予めご了承下さい。
- お申し込み受領後は、いかなる場合においても、受講料の振込のないことをもってキャンセルとはみなされません。キャンセルの際は、必ず事務局までご連絡下さい。

#### 【個人情報の取扱いについて】

「資料請求」や「アンケート」の記入時、講座のお申し込み時等にお預かりした個人情報につきましては、受講案内やガイダンス等の開催案内に使用いたします。お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託契約締結先以外の第三者に開示・提供することはございません(法令等により開示を求められた場合を除く)。お客様の個人情報は、早稲田大学ビジネス情報アカデミーにて管理させていただきます。



- アクセス 早稲田大学日本橋キャンパス  
東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビル  
(COREDO日本橋 5階)  
・東京メトロ東西線/銀座線「日本橋駅」B12、C1、C2出口直結  
※お越しの際は、公共交通機関をご利用下さいようお願い申し上げます。

- お問合せ先:早稲田大学ビジネス情報アカデミー事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビル5階  
TEL:03-3272-6785 (受付時間:月～金 10:00～18:00、土・日・祝日休)  
FAX:03-3272-6786 E-mail:WBA@list.waseda.jp  
URL:<http://www.waseda.jp/wnfs/seminar/index.html>